

協働事業に関する提案書

令和2年9月30日

(宛先)狭山市長

団体名 Sayama Second Stage

所在地

代表者名 南部 健一郎 ㊦

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業 (コロナに負けない! 地域を元気にするための協働事業)
2 事業名	道にお絵かき! ?大っきなところに描いてみよう♪ ~コロナなんかには負けないぞ! ~
3 事業期間	令和2年11月2日から令和3年2月26日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	174,000 円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	新型コロナウイルス感染症の影響による先の見えない閉塞感を解消するとともに、市民の「コロナに負けない!」という意識の醸成を図るため、ダストレスチョークを用いた親子参加型の絵描きイベントを開催する。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 Sayama Second Stage

1 事業名	道にお絵かき!? 大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかには負けないぞ!!～
2 事業の詳細	<p>市内在住の親子を対象に募集を行い、駅前市民広場(案)をキャンパスとして、絵描きイベントを開催する。絵を描く際には、体にやさしく消すことが容易なダストレスチョークを利用する。</p> <p>また、絵のコンセプトは、通りかかった市民のコロナによる不安や閉塞感を解消するような絵とする。</p> <p>○開催月:令和3年1月予定 ○会場:狭山市駅西口市民広場 ○対象:3歳～小学6年生のこどもと保護者 ○定員:40組程度 ○内容 新型コロナウイルス感染症の三密対策として、3部構成で実施する。 第1部:午前10時から午前11時まで 第2部:午前11時から正午まで 第3部:午後1時から午後2時まで</p>
3 実施体制	Sayama Second Stageスタッフ5名 有償ボランティアスタッフ6名 狭山市協働自治推進課
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <p>イベントの企画 広報 イベント当日の進行(受付・誘導等) 物品の準備 報告書の作成</p>
	<p>【市の役割】</p> <p>イベントの企画立案における助言 広報(市公式ホームページ・SNSなど) 関係機関との調整 会場の確保</p>
5 協働の効果	多方面にわたる分野(子育て・福祉・教育・まちづくり等)で活動するメンバーと市が協働で事業を実施することで、幅広い視点からイベントを企画することができる。また、会場の確保や広域的なイベント周知が可能となる。
6 事業のアピールポイント	外出自粛により家にこもりがちな親子の閉塞感を解消するとともに、狭山市駅西口駅前広場が彩られることで、狭山市全体を活気づけることができると考えます。